

# コラム 仲間の「絆」



国労東日本本部 青年部長

先日、日本漢字能力検定協会主催の2011年を表す漢字が全国から6万通を超える応募により「絆」と発表されました。本年3月11日に発生した東日本大震災で家族の大切さが感じられたからではないかとされています。

改めて東日本大震災で被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

皆さんにとって“絆”と聞いた時に一番初めに何を思い浮かべますか？「両親・兄弟・家族・恋人・友達・同僚」と人それぞれ思い浮かぶ事が異なるかと思われまます。そもそも“絆”という言葉調べてみると語源は“動物をつなぎとめる綱を意味しており断つ事の出来ぬつながり”とされており、マイナスの意味が感じられてしまう言葉のようですが、東日本大震災の発生により助け合いの精神がうまれプラスのイメージが定着しつつあるとされています。

では、労働組合の中での“絆”はどのような意味になるのでしょうか？

そもそも私たち労働者が一人ひとりですと非常に弱い立場で、厳しい労働条件のなかで働かされてしまいます。そこで、安心して生活をする為に賃上げなどの春闘要求や職場の労働条件改善をする為に結集したのが労働組合という機関です。一人は皆の為に、皆は一



人の為に、会社と私たちの労働条件を良くする為に会社と交渉する事ができる権利も持つ事ができる様になります。

交通機関で例えると列車・バスを動かす乗務員が居なければ乗り物は動きませんし、メンテナンス部門の保守など整備を行い駅業務での切符などの販売によって企業は利益を得ます。しかし企業だけでは利益を生む事ができません。

その利益を生み出すためには私たち労働者が働くこと（労働力）が必要不可欠となり、安全・安定輸送（商品）を提供する代償として賃金が支払われるのです。また、最近JR各社では契約社員の導入が進んでおり、正社員とほぼ同一労働の非正規雇用労働者が職場で将来への不安を抱えながら活躍しており、国労は正社員化を求めています。同じ職場で働く労働者どおしが競争の無い社会にしていなくてはなりません。

最後になりますが、JR各社には複数の労働組合があります。どの労働組合に所属するのも自由とされています！自分自身で労働組合を選択し退職するまで安心して楽しく過ごせる職場や仲間との“絆”を作りましょう！！